

## 2月

「1月は行く、2月は逃げる、3月は去る」の言葉通りに、あっという間に1月が終わり、2月も中旬を過ぎようとしています。いよいよ今年度の教育活動も本当に残り少なくなってきましたが、生徒たちには来年度に繋がるよう、充実した学校生活を送ってもらいたいと願っています。

さて、2月5日（水）には、町教委から教育長様はじめ6名の方をお迎えして、令和6年度後期学校訪問を実施しました。5限目に全クラスの公開授業を行った後、6限目には伊奈晴美教諭による英語科の研究授業を行いました。

本校としては、今年度の研究主題である「ふれあいを大切に、はじめを重んじる生徒指導並びに学習指導の充実～深い学びと自己実現に向けて～」の達成のために、真摯に日々の教育活動に取り組んできました。生徒との日頃の関わりを大切にしながら、基礎学力の定着、思考力や書く力の向上、家庭学習や読書に取り組む生徒の育成を目指し、様々な取組を進めてきました。特に、思考力や書く力の向上については本校の大きな課題と捉え、授業をはじめ様々な場面で自分の考えを書く指導を学校全体で推進してきました。教員も研究主題達成のため、主体的・対話的で深い学びを意識した授業づくりに努めてきた次第であります。

研究協議では、先生方もノートPCを用いながら伊奈教諭の授業に対する意見交換を活発に行いました。また、本校教務主任の三原史也教諭からは、県学習到達度調査の結果分析や学力向上の取組を報告しました。今回の県学習到達度調査では、国語科・数学科において記述問題の正答率や無解答率の上昇が見られました。しかし、すべての学年・教科で上昇したわけではないので、主体的・対話的で深い学びの授業づくりや読書活動の推進等を通して、読解力や記述力の向上を粘り強く図っていきたいです。町教委の方々から頂いた建設的なご助言も参考とさせて頂きながら、より質の高い学習指導が展開できるよう努めていく所存です。

1年松葉堆肥づくり



2年調理実習



3年百人一首



英語科研究授業



研究協議

